



平成 17 年 7 月期 第 2 四半期財務・業績概要（個別）

平成 17 年 3 月 4 日

上場会社名 日本駐車場開発株式会社

(コード番号: 2353 東証第一部)

(URL <http://www.nittyu.co.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長 巽 一久

問い合わせ先責任者 役職名 取締役副社長 氏家 太郎

TEL (06) 6227 - 6777

決算取締役会開催日 平成 17 年 3 月 4 日

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2. 平成 17 年 7 月期第 2 四半期の概況（平成 16 年 11 月 1 日～平成 17 年 1 月 31 日）

(1) 経営成績(個別)の進捗状況 (注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期 (当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17 年 7 月期 第 2 四半期	778	20.3	139	23.6	134	9.0	73	-
16 年 7 月期 第 2 四半期	647	44.6	112	70.9	123	114.8	-	-
(参考) 16 年 7 月期	2,705		516		522		286	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17 年 7 月期 第 2 四半期	22	05	21	37
16 年 7 月期 第 2 四半期				
(参考) 16 年 7 月期	1,596	79	1,552	12

(注)1. 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。売上高、営業利益、経常利益以外の項目に関しては当第 1 四半期より開示を行っているため、前年第 2 四半期実績及び対前年同四半期増減率は記載していません。

[経営成績(個別)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 2 四半期におけるわが国の経済は企業収益が改善し、企業の設備投資も回復するなど、景気動向は堅調な動きを見せております。一方、原油価格の高騰や円高など将来への懸念材料も引き続き存在し、景気の回復は緩やかなものになりました。このような状況のもと、減損会計導入を目前に控えて不動産の流動化が進み、ビル所有企業、金融機関、JREIT(不動産投資信託)などのビル附置駐車場に対する収益改善意識や駐車場ユーザーの経費削減意識は衰えることなく高レベルで推移し、当社グループはそれに応えるべく積極的な営業活動を展開するとともに、サービスレベルの維持・向上に努めてまいりました。

前期に獲得した物件が順調に推移したほか、大阪証券取引所ビル駐車場のように入新ビル設計段階から駐車場に関するコンサルティングを行った物件の早期立上げが実現したことにより、直営事業において 745,468 千円の売上を計上した結果、売上高合計は 778,513 千円となりました。

東京証券取引所第一部上場関連費用などが発生したため、営業利益は 139,239 千円、売上高営業利益率は 17.9%となりました。営業外費用として株式分割に係る新株発行費などが発生したことにより経常利益は 134,154 千円となり、第 2 四半期純利益は 73,627 千円となりました。

(2) 当該四半期において財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

当第 2 四半期における財政状況は安定的に推移しており、経営成績に重要な影響を与える事象は特にありません。